

(様式1)

校種	小	学校番号	58	学校名	宇都宮市立西が岡小学校
----	---	------	----	-----	-------------

## 令和6年度 学校経営計画

### 1 教育目標

#### (1) 基本目標

人間尊重の教育を基盤に自ら学び、自ら考え、主体的に判断して生きていくことのできる、心身ともに健康で、心豊かな、たくましい児童を育成する。

#### (2) 具体目標

〈目指す児童像〉

- ① 明るく元気な子ども (体力・気力)
- ② よく考えて学習する子ども (創造力)
- ③ 心豊かで思いやりのある子ども (責任・思いやり)

### 2 学校経営の理念

教育目標の達成を目指し、子供の主体性を育て、希望に満ちた明るく楽しい学校づくりをするために、全職員が和と協力、熱意、そして人間尊重の精神を基盤に「生きる力」を育む教育に取り組み、新しい時代の教育に向けた持続可能な活力に満ちた特色ある学校経営を推進する。

〈目指す学校像〉

- ① 楽しく充実したみんなと生きる学校
- ② 子どもと教師が共に育つ学校
- ③ 地域とともに歩む笑顔あふれる学校

**合言葉** 元気いっぱい 夢いっぱい 笑顔あふれる 西が岡

### 3 学校経営の方針

#### (1) 安全安心な学校づくり

「生きる力」を育み、児童が生き生きと活動し安全に学べるようにするために、日常の安全管理に努め、安全確保に努めるとともに、全ての児童が安心して生活を送ることができるよう、いじめ等の未然防止や安全教育の充実に努める。

#### (2) 自己肯定感を育む学級経営と教育活動の充実

一人一人の存在を互いに認め合い、学習や生活の基盤として居心地がよく安心感ある学級づくりに努めるとともに、自信と意欲を育み、よさを十分に発揮できる教育活動の展開に努める。

#### (3) 確かな学力の向上

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図り、個別最適な学びや協同的な学びを推進し、学ぶことの楽しさや成就感を体感させ、基礎・基本の確実な定着と自ら学ぶ態度の育成に努める。

#### (4) 豊かな心の育成

道徳教育や体験活動、読書活動の充実を通して「生命や人権を大切に作る心」「思いやりの心」や創造性を育み、心豊かでたくましい子どもの育成に努める。

#### (5) 児童指導の充実

児童理解に努め、信頼関係を構築し、全職員で方針を共有して行動力や判断力を育成するとともに、保護者との連携を図り、規範意識の醸成と基本的生活習慣の確立に努める。

- (6) 体力の向上と保健安全教育・食育の充実  
進んで運動に親しむ体育指導と、健やかな体を育む食育・保健指導の充実を図り、健康・体力の向上に努める。
- (7) 小中一貫教育の推進  
学校園として認め励ます指導を通して自尊感情を育み、学習や活動の交流を図り、小中一貫教育を推進する。
- (8) 特別支援教育の充実  
多様性と人権を尊重し、特別支援教育の視点を大切にされた教育環境の醸成に努める。
- (9) 教職員の資質の向上  
人権尊重の理念を重視した教育活動を実施し、個々の教員が資質向上に努め、学び合いを高めて、児童や保護者から信頼される教職員集団を目指す。
- (10) 地域とともにある学校づくり  
家庭や地域と連携し地域の教育力を生かした学校教育の充実を図り、情報発信の充実に努め、連携・協働した取組を推進する。
- (11) 働き方改革の推進  
働き方の見直しを図り、心身ともに健康に専門性を発揮して効果的な教育活動に専念するための業務の適正化を図り、新しい時代へ向けた持続可能な教育体制を目指す。

**「宝木地域学校園教育ビジョン」**

「いきいき宝木」心豊かな宝木っ子の育成をめざします。

～他を思いやる心や規範意識を育み、

基本的生活習慣や主体的に学ぶ態度を身に付けさせる指導の充実～

#### 4 教育課程編成の方針

- (1) 日本国憲法，教育基本法，学校教育法，同施行規則，新小学校学習指導要領等の法令並びに栃木県教育委員会の方針「栃木県教育振興基本計画」，宇都宮市教育委員会の学校教育の重点「第2次宇都宮市学校教育推進計画」「令和6年度指導の重点」の示すところに従い公教育の立場を堅持し，本校の教育目標達成のため，調和と統一ある教育課程を編成する。
- (2) 児童の実態や学校の特色や地域のもつ豊かな教育力を生かして，知・徳・体の調和のとれた人間性豊かで「生きる力」を身に付けた児童の育成を目指した教育課程の編成に努める。
- (3) 本年度の学校教育目標，学校経営方針，努力点や具体策，学校課題の具現化を図るとともに，学校教育の活性化を図る特色ある教育課程の編成をする。

#### 5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

- (1) 学校運営  
○落ち着いた学校生活のもと認め励ます教育を推進し，縦割り班活動を中心とした体験活動や読書活動などを通して豊かな心と主体性を育む。
- (2) 学習指導  
○児童の実態や特性を踏まえ，主体的に学ぶ態度や学習習慣の育成を図るとともに，基礎・基本の確実な習得を目指した分かる授業（宇都宮モデル・西が岡スタイル）を展開し，確かな学力の定着に努める。  
・個別最適な学びと協働的な学びの実現を意識し，ICT環境の活用や特別支援教育の視点を取り入れた授業の充実を図り，学ぶことの楽しさを実感する教育の推進に努める。

(3) 児童生徒指導

○道徳教育や学級経営の充実を図り他者と協同してよりよく生きようとする児童を育てる。

○具体的な活動を通して「明るいあいさつ」「正しい言葉遣い」「決まりを守る態度」の育成に努める。

(4) 健康（体力・保健・食育・安全）

体育，保健，食育指導の連携をもとに，自己の生活習慣（保健安全・食習慣・体力）を意識し行動する児童の育成に努める。

(5) 働き方改革の推進

I C Tの活用，校内協働体制の確立，地域と学校の連携・協働の積極的な推進等により校務の効率化を図るとともに，教職員の出退勤時刻の管理を通じた勤務時間の適正化を推進する。

**6 学習指導，児童生徒指導，健康（体力・保健・食育・安全）に関する取組**

※ 様式2～4参照

**7 特色ある学校づくりに関する取組**

(1) 育てたい資質や能力

- ① 縦割り班を生かした活動をとおして，児童の主体性・協調性・社会性を養うと共に，高学年においてはリーダーとしての資質を育成する。
- ② 地域の人々や各種ボランティアとのふれあいをとおして，地域への敬愛の心を培うとともに，より幅の広い社会性を養う。
- ③ 学校図書館の利用を活性化し，児童が進んで読書したり，自ら課題を解決したりしようとする姿勢を育てる。

(2) 具体的な取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」関連には，文頭に◇）

① 教育課程への位置づけと活動計画の作成・実施

ア 異学年集団による交流活動

◇・児童会活動 集会活動（新入生を迎える会，6年生を送る会，卒業生歓送の集い）  
常時活動 あいさつ運動

◇・縦割り班活動 遊友タイム，縦割り班対抗集会活動，花はなタイム，運動会縦割り班種目清掃（一部縦割り），元気っ子体力チェック（1・3・6年，2・4・5年の縦割り）

◇・他学年交流の実施 生活科・総合的な学習の時間での交流（なかよしまつり1・2年，総合的な学習の時間発表2・3年），集団登下校，縄跳び検定（1・6年，2・5年）

イ 地域人材を活用した教育活動の充実

◇・読書活動（地域人材による読み語りや学校図書館読書環境整備，民話の会の語り）

◇・ふるさと教室の実施（昔の遊び，昔のくらし体験・）

◇・栽培活動（米，さつまいも・野菜・草花）・稲作感謝の会

・生活科の学習活動（2年探検活動の補助）

・総合的な学習の時間の学習活動（3年学区探検の補助）

- ・社会科の学習活動（校外学習の補助・戦争体験の話）
- ・郷土資料室の整備（昔の道具についての話）
- ・家庭科の学習活動（ミシン授業補助・調理実習補助）
- ・宇都宮学の学習支援
- ・学習活動補助ボランティア
- ・夏期学習会の支援
- ・スクールガード活動（登下校時，通学路安全点検，子ども110番の家）

ウ 民間企業・公共施設・行政を活用した教育活動の充実

1年	小動物との触れ合い，宝木荘訪問，おそうじ教室	4年	上下水道教室，自転車免許事業，1/2成人式，西が岡保育園訪問，宝木荘訪問，スケート教室，飛び出す美術館 益子焼絵付け体験，福祉プラザと連携した高齢者疑似体験
2年	ろまんちっく村校外学習，路線バス利用，町たんけん，西が岡保育園との交流	5年	冒険活動教室，自動車工場・県庁見学，環境出前講座，ふれあい文化教室，情報モラルに関する出前授業，日産モノづくり，クボタ工場見学，とちぎSCによるサッカー教室
3年	カルビー工場・博物館・スーパーマーケット見学，珠算教室，リコーダー教室，盲導犬出張講演，宝木分署見学，宇都宮学に関わる施設見学（大谷資料館等）	6年	薬物乱用防止教室，たばこ喫煙防止教室，宮っ子「夢」教室，宇都宮空襲に関する話，宇都宮市議会議場見学，情報モラルに関する出前授業，租税教室，ブレックスによるバスケットボール教室

エ 学校図書館の活用

- ◇・学校図書館の環境整備（書架の整備・展示の工夫）
- ◇・学習関連図書の整備（調べ学習の充実）
- ◇・児童の読書活動への支援  
（読み語りの充実・読書記録の工夫・学校図書館司書による選書支援）
- ◇・児童による読書活動の啓発（図書委員会活動の活性化）
- ◇・「家読」の奨励と啓発
- ◇・読書週間の実施

② 特色ある学校づくりについての地域への啓発

ア 広報活動

- ・学校HP，各種便り（「学校便り」「学年便り」「給食便り」「図書館便り」「保健便り」「地域協議会便り」等）

イ 学年・学級懇談会，土曜授業，うつのみやオープンスクール，音楽朝会の公開

ウ 諸活動への参加協力の依頼（地域協議会ボランティア募集）

**学習支援部会**

- ・授業や体験活動に協力できる人材募集や日程調整
- ・体験活動指導者としての協力（昔遊び・ふるさと教室等）

- ・授業で使用する教材作成や校舎内外の環境整備・郷土資料室の整備と活用支援
- ・読み語りの会（陽だまりの会）や、学校図書館環境整備ボランティア（にじいろの会）との連携・協力
- ・学習会での児童支援

#### 安全支援部会

- ・地域ぐるみあいさつ運動実施
- ・登下校時の安全確保

#### 宮っ子ステーション部会

- ・放課後の児童に体験活動や交流の場を提供

## 8 本市の重点施策・事業に関する取組

### (1) 地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携・協働を含む）

#### ① 基本的考え

魅力ある学校づくり地域協議会を中心に、自治会、育成会、地域コミュニティセンター等の地域諸団体との連携・協力及び地域人材・ボランティアとの積極的な交流・体験活動を通して、地域への敬愛の心と幅広い社会性を養う。

#### ② 主な取組

##### ア 地域連携活動の活性化

##### ○ 魅力ある学校づくり地域協議会との連携

- ・学習支援部会：読み語りボランティア、学校図書館環境整備ボランティア、授業ボランティア、体験活動補助、田植え・稲刈り支援、教材作成協力、郷土資料室整備、ふるさと教室（昔遊び、昔のくらし体験）、夏休み学習会
- ・安全支援部会：地域ぐるみあいさつ運動実施、登下校時の安全確保等
- ・宮っ子ステーション部会：放課後子ども教室開催【校内地域開放室 毎週水・金曜日実施】  
（参加児童勧誘、指導員や安全確保の人的配置、各種講師依頼、使用設備の貸与等）

##### ○ 地域教材・人材の活用

- ・生活科「町たんけん」、総合的な学習の時間「西が岡新発見」の補助
- ・「宮っ子『夢』教室」講師
- ・地域老人福祉施設「宝木荘」との交流（インターネット会議システムの利用）
- ・西が岡保育園との交流

##### イ 学校園・近隣学校の連携交流の活性化

- ・「宮っ子チャレンジ」や「町たんけん」での相互受け入れ協力
- ・スポーツ少年団、PTA活動での宝木小、細谷小との連携・協力

### (2) 小中一貫教育・地域学校園

#### ① 基本的考え

学校園運営会議の下に、学力向上、学校生活支援、健康・体力・食育、交流連携の4部会を置き、総力を結集して「心豊かな宝木っ子の育成」を図る。特にすべての教育活動を通して、相手を思いやる心や規範意識、主体的に学ぶ態度の育成及び基本的生活習慣の定着を重視する。

## ② 主な取組

### ア 授業力向上プロジェクトの取組

- ・ 学校園テーマ「学習習慣の育成・徹底」を受けての取組
- ・ 校内研究授業の相互参観と研究成果の共有
- ・ 乗り入れ授業の実施
- ・ 学校図書館教育の連携・充実
- ・ 1人1台端末の効果的な活用

### イ 「宮っ子心の教育」に関する取組

- ・ 道徳教育分科会を中心とした授業における具体的な取組の推進
- ・ 学校生活支援部会の交流体験的活動の充実  
(あいさつ運動, 音楽朝会での中学生合唱披露)
- ・ 認め励ます教育の推進
- ・ 「あいさつ大賞」「宮っ子心の教育長賞」の表彰
- ・ 人権標語の募集と掲示

### ウ 宮・未来キャリア教育に係る取組

- ・ 生活科・総合的な学習の時間の年計への位置づけと活動の実践
- ・ 2分の1成人式(4年), 宮っ子「夢」教室(6年)の実施
- ・ 宮・未来キャリアパスポートの活用

### エ 不登校対策に係る取組

- ・ 教育相談分科会を中心とした情報の共有と研究・協議
- ・ 学校園児童生徒指導強化連絡会

### オ 体力向上に係る取組

- ・ 体力テスト結果に基づく強化種目の設定と具体的指導法の共有
- ・ 体育通信・学習カードの共有と活用
- ・ 健康推進分科会・食育推進分科会との連携

## (3) 不登校対策

### ① 基本的考え

学級経営や特別活動の充実を図り不登校の未然防止に努めるとともに, 一人一人が自らの課題を乗り越え, 自己の可能性を伸ばし, 社会の変化に柔軟に対応できる児童の育成を目指し, 多様な児童の状況に応じた教育的ニーズを把握し指導・支援を行う。

全職員の協力体制の下, 不登校の児童の社会的自立を目指し, 対策委員会の開催や実態に応じた個別の支援計画の策定を通して, 家庭や関係機関と連携した組織的・計画的な支援を行う。

### ② 主な取組

#### ア 未然防止・早期発見・早期対応

- ・ 学級経営の充実, 児童・保護者との良好な関係の構築
- ・ 情報収集(教育相談, 学校生活アンケート, Q-U 検査, 欠席状況調査等), 全教職員による情報の共有, 電話連絡, 家庭訪問, 要因・背景の理解, 家庭との連携

#### イ 情報の共有と個別の支援計画の作成

- ・ 校内支援会議

- ・事例報告会及び個別支援会議，打合せ等での情報の共有
- ・多くの教職員のかかわり，可視化，能視化（意識化）
- ・個別の支援計画の作成と共通理解

#### ウ 関係機関との連携

- ・市教育センター，市子ども家庭課，児童相談所，医療機関等との連携
- ・スクールカウンセラー，スクールソーシャルワーカーの活用
- ・地域学校園における不登校対策連絡会

#### エ 本人及び家庭への働きかけ

- ・電話連絡や家庭訪問等での日常的な関わり
- ・保護者との個別面談の実施による情報や見通しの共有
- ・1人1台端末を活用したオンライン授業や対面指導の実施
- ・保健室，図書室を活用した適応指導
- ・積極的な別室登校支援（図書室）
- ・学生ボランティアの活用

#### オ Q-Uを活用した学級経営，特別活動の充実

- ・Q-Uの分析を生かした学級経営
- ・ソーシャルスキルやエンカウンターを活用した居心地がよく安心感のある学級づくり
- ・学校行事や係活動などで児童が活躍できる場の工夫

### (4) G I G Aスクール構想

#### ① 基本的考え

G I G Aスクール構想の実現を目指し，1人1台端末を文具の一つとして，授業はもとより日常的に活用できるよう，校内研修等を充実させ，着実に取組を進める。また，「宇都宮市小学校プログラミング教育年間指導計画」に基づき，プログラミングを体験しながら，コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付ける学習活動を計画的に実施する。より良い情報の使い手となるための教育を体系的・継続的に実施していく。

#### ② 主な取組

##### ○ 1人1台端末の積極的活用

- ・各教科の特性や児童の発達段階に応じた1人1台端末の効果的活用を推進する。
- ・授業はもとより朝の学習，家庭学習等において，A I型個別学習ドリルを効果的に活用し，学習内容の確実な定着を図る。

##### ○ 校内研修の推進

- ・情報教育主任を中心とし，I C T支援員等を効果的に活用した校内研修を推進する。
- ・研究主任を中心とし，1人1台端末を効果的に活用した授業研究を推進する。

##### ○ 情報モラル教育の推進

- ・S N Sやネットトラブル，スマホ依存等の未然防止に向け，専門家による出前講座等を活用した情報モラル教育を推進する。

### (5) 宇都宮学

#### ① 基本的考え

グローバル社会に主体的に向き合い，よりよい社会を創る担い手となるとともに，異なる文

化をもつ人々とともにたくましく未来を生き抜く宮っ子を育むため、地域のひとやものを活用し児童が郷土宇都宮の歴史や伝統文化、産業などについて理解し、郷土への愛情と誇りをもてるようにする。

② 主な取組

○社会科と宇都宮学を関連付けた魅力ある授業の展開

- ・第3・4学年社会科副読本「宇都宮学」コラムの活用
- ・宇都宮学に関連した施設や場所などの見学
- ・宮っ子伝統文化体験教室等の体験的な学習の積極的な導入

○総合的な学習の時間における探求的な学習の展開

- ・第5・6学年小学校版「宇都宮学」副読本の効果的な活用
- ・各教科・領域と関連させた指導